

平成18年度 海岸工学委員会 第2回幹事会 議事録（案）

日時：平成19年4月12日（木）14:00～16:20

場所：土木学会

出席者：喜岡委員長、佐藤幹事長

青木，岡安，木村，栗山，後藤，小林，榊山，重松，高木，武若，中野，中山，橋本，福濱，藤原，間瀬，村上，横木，熊谷（事務局）（敬称略）

人事異動等の確認

- ・ 鈴木委員から宇都宮委員に交代.
- ・ 日本海洋学会に，大山委員を，理事・運営委員として推挙.
- ・ 環境システム委員会担当を，青木委員から重松委員に交替.

議事

1. 前回議事録（資料 No.1-1 および No.1-2）の確認

2. 報告事項（喜岡委員長）

- ・ 海岸工学委員会に対する評価は，3つの項目すべてが A ランクである.
- ・ 今後は，差別型予算となり，競争的資金を設けることとなる．また，講演会の動員数等は，直接影響する指標となるので重要である.

3. 第54回海岸工学講演会の応募論文審査（佐藤幹事長，間瀬小委員長）

- ・ 今年は412編（去年は418編）の投稿があり，18点以上が269編，17点が71編となった．17点の論文のうち，評点で2点「掲載すべきでない」が一つでもついた論文は不採択とすることとして第二段審査へ進む論文を決定した．その結果，採択論文は300編となり，採択率は72.8%となった（添付図参照）.
- ・ アクセス障害が発生したためメール投稿を許したところ，締め切り時刻直前にメール投稿した人が多く見られた．次年度に再検討の必要がある.
- ・ 転勤者への対応方法の周知については，今後、検討の必要がある.
- ・ 今年度から英文タイトル，英文要旨が加わった点に注意して頂きたい．当然ながら，英文に対しても必要な査読を行って頂きたい.
- ・ 昨年と同様に，D 判定（返却）の場合は，主査だけで判断せずに，土木学会を経由するなどして，慎重な審議を行うこととする.
- ・ 今年度は査読員のメンバーが少ししか変わっていないので，第二段審査の説明会は実施しない.
- ・ 査読者リスト（資料 No.2）の追加推薦について，今後1週間を期限として，メールで追加の査読者を推薦していただく.

- ・ 海岸工学論文賞の最終選考においては、幹事会で指名した各委員に審査をお願いする。
4. 論文集再編へのアンケートについて（喜岡委員長、佐藤幹事長）
- ・ 土木学会論文集再編案について説明され、海岸工学委員会としてのアンケートへの回答内容が紹介され、審議された。
5. 第 54 回海岸工学講演会の準備状況について（村上委員）
- ・ 講演会の開始時刻は 8:30 を目処として、講演日程を組むこととする。
 - ・ 発表においては、原則は従来どおり CD、USB メモリーを持参して頂き、休憩時間にパソコンに取り込んで頂く。ただし、特に事情がある場合は、個人の PC の持ち込みを認める方向で、切り替え器等の準備を検討する。
 - ・ 宮崎県からの支援を受けるためには、のべ 1000 泊が必要要件となる。これにより飲食を伴わない経費に対して補助が得られる予定である。
 - ・ 発表者の変更については止むを得ない場合は認めているが、基本的には変更は避けるべきである。今後、機会をみて、注意喚起することを検討する。
 - ・ 小委員会等の会議を行うための会議室を 2 つ確保した。
 - ・ 市民シンポジウムのための会場を確保してあるので、希望があれば利用していただきたい。
6. 第 55 回および第 56 回海岸工学講演会の開催（会場など）について
- ・ 第 55 回は、富山市で開催する。
 - ・ 第 56 回は、北関東地区をひとつの候補として、当該地区の委員等に、引き続き検討をお願いする。
7. Coastal Engineering Journal について（岡安委員）
- ・ 論文投稿状況について、資料 No.3 に基づいて説明があった。
8. 研究小委員会等の活動について
- ・ 沿岸域研究連携推進小委員会の活動について、資料 No.4-1 に基づいて、青木委員から説明があった。
 - ・ 津波被害推定ならびに軽減技術研究小委員会から、資料 No.4-2 が配布された。
 - ・ 広報小委員会の活動状況について、岡安委員から説明があった。
9. 第 43 回水工学に関する夏期研修会（福岡）について（橋本委員）
- ・ 8/28（火）、29（水）（九州大学：筑紫キャンパス開催）について、配布資料に基づいて準備状況が報告された。

10. その他

- APAC2007（2007年9月21～24日，Nanjing開催）の準備状況が報告された.
- Coastal Dynamics 2009（東京にて開催）について，準備状況が報告された.

（議事録作成：木村委員）

論文ごとの総点数分布

